

対象年度		令和 6年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		小学校施設整備事業						予算事業名		小学校施設整備事業費					
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令							
			10	02	03	20	経常経費								
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう						事業の区分		主要事業					
		地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり													
		安心して学べる学校づくりの推進						担当課係等		学校教育課					
						施設係									
事業期間		継続 (令和 4年度～ 年度)													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
児童が安全で快適に学ぶことができる教育環境の整備を図る。 教職員が児童を指導するうえで、良好な環境を整備する。															
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
○改修工事 ・大規模改造(校舎、体育館) ・体育館改修 (LED化等) ・外トイレ改修 (老朽化による建物及び和便器を洋便器化へ改修) ・防火及び消防設備防犯設備 (耐用年数を考慮し順次改修) ・高架水槽及び受水槽改修(経年劣化部を順次改修) ・グラウンド及び外構、フェンス改修 (経年劣化部を順次改修) ・遊具設置改修 (耐用年数を考慮し順次改修)							児童及び教職員								
							【事業をとりまく環境の変化】 学校からの要望件数が校舎の老朽化とともに年々増加し、教育環境の改善が求められている。 老朽化の進行が進んでおり、部分的な改修ではなく、全体的な大規模改造を実施しなければ改善されない状態となっている。								
【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】							
・城西小学校 体育館内部改修(LED化等) ・結城小学校 外トイレ改修 ・結城西小学校 外周フェンス改修 ・防火設備 消防設備、防犯設備 ・グラウンド及び外構改修 ・高架水槽 受水槽改修・遊具設置改修				・結城西小学校 体育館改修(LED化) ・城西小学校 外周フェンス改修 ・防火設備 消防設備、防犯設備 ・グラウンド及び外構改修 ・高架水槽 受水槽改修 ・遊具設置改修				・城南小学校 南校舎大規模改造実施設計委託 ・結城西小学校 外トイレ改修 ・防火設備 消防設備、防犯設備 ・グラウンド及び外構、フェンス改修 ・高架水槽 受水槽改修 ・遊具設置改修							
■事業費															
			R04年度		R05年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	8,904	5,807								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	66,600	8,500								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	17,595	12,046								
歳 入 計 (千 円)			93,099		26,353										
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)		金額 (千円)		金額 (千円)										
	12	委託料	2,374		0										
	14	工事請負費	90,725		26,353										
歳 出 計 (千 円) (A)			93,099		26,353										
伸 び 率 (%)					-71.69										
考	結城市は近隣自治体が実施している大規模改造や長寿命化工事を一切実施していないため、内装材及び給排水等の老朽化が進行しており、早急な対策を講じたいと思われる。														

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	体育館改修	校	目標	1.00	0.00	1.00
	経年劣化による屋根、床等の改修及びLED照明器具への改修		実績	1.00	0.00	0.00
	外トイレ改修	校	目標	0.00	0.00	1.00
	和便器を洋便器に改修		実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	教育環境整備のため必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外では実施でいない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	施設の老朽化が進むにつれ、一件の工事規模が大きくなる傾向にあり、工事に係る準備や設計、学校側との連絡調整に人員や時間を要する。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	改善要求及び必要のある施設について対応はできている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	緊急性・重要性の高い案件を優先的に整備し、一定の効果は得られている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	突発的な改修及び社会情勢に合わせた整備、事業費の増加により見直しが必要である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
緊急対応工事は実施できる状態であるが、計画通り事業は進んでいないのが現状である。交付金等を最大限活用し事業を進めるようにすると共に、財政部局等と計画通りの事業実現にむけ協議を進める。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
学校施設個別施設計画に基づき、計画の見直しをするとともに事業の平準化を図っていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 方向性の具体的内容 可能な限り個別施設計画に基づく長寿命化及び施設整備を実施する。結城南中学校区の小学校については新設校の進捗と整合性を図りながら対応していく。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり